

DKW RT125K

1938年 / 市販車

1932年にドイツのチョップパウにて設立された DKW 社の製品。

1934年発売のモデルは、2ストローク98cc のエンジンで2.5PS ながら、わずか45Kg の車重による時速60Km/h の巡航速度は、当時としては十分な性能を誇っていた。

また、サドル下の大型スプリングは快適な乗り心地も実現していた。

第二次大戦後、戦後賠償の一環として、様々な国へ設計図が提供され、

その優れた基本設計を基に多くのコピーやバリエーションが創出された。

このモデルを参考に、1955年発売のヤマハ発動機

第一号製品の YA-1 が開発されたが、設計図の提供は

叶わず、既存製品を分解し研究することから始まり、

設計面でもデザイン面でも「模倣ではなく研究の対象」

として捉え、多くを学びながらもより良い製品づくりを

目指した。

その結果、YA-1 は最後発企業によるレース初戦での

優勝や、精緻に洗練されたパーツ構成と印象的な

マルーン色の車体によって「技術とデザイン」の

ヤマハ発動機の礎となった。



COMMUNICATION
P L A Z A